

---

# サイコロの『五』

浅川太郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

サイコロの『五』

### 【Nコード】

N2994Z

### 【作者名】

浅川太郎

### 【あらすじ】

立呑屋でバイトしてた娘と

(前書き)

夜の街シリーズです。

立呑屋が流行ってる。

店によつては、女子大生のきれいだころを集めたような感もあり、こんなに不況になる前であれば、まるでスナックバーみたいなノリで、かつ値段も安いし、繁盛してた。

僕も、2、3の好みの娘もいて、その店に通ってた。毎晩、いろんな客が来てた。

七割はサラリーマンだったように思う。

アルバイトの娘ともしゃべるし、シーズンであれば壁のテレビで野球中継もあって、隣の客とも話す。

中継も終わり、隣の客と、ストライクゾーンについて話した。

そして、「好みの女のストライクゾーン」に話が移った。

彼は、サイコロの『五』を例にした。

彼にとつちや、真ん中の赤い丸　麻雀のウーピンかも知れない

愁いを帯びた、細身の女。どこか頼りなげで、どこか悲し気で、そんなんが、ストライクだそうだ。

そして右上の丸に「上品で賢い女」、左下が、品がなく、どこか汚れてて、頭もよくないのだが、それなりの魅力はあって、一度だけセックスしたい女。かえって、このゾーンに興奮すること、ありませんか、と聞かれた。

僕は曖昧に笑った。

左の上の丸は、青い目で金髪、もしくはエキゾチックな容姿の女。道理で、彼はこの店のアキナが目当てで通ってるんだ。

それから右下が、彼に言わせれば「雑」

。その時の気分とか、その時に好きな女優さんに似た女などが来る、という。  
ずいぶんと勝手な言い草だなあとはいはしたが、笑いながら聞き流していた。  
こちらの年齢によつて、ゾーンの広さも変わってきますよねと、彼はなおも続けていた。

その時、ちよつとした事件があつた。

ケイコが突然（のように思われた）泣き出し、店の外に出た。

加害者（？）と思われる客を見ると、労務者風であり、何かしら変な感じだった。さつき、どこかで人殺しでもやってきたようなイメージ

とにかく僕はケイコを追い、店外で、「何があつた？だいじょうぶかい？」と問うた。

「いや、いいんです」

少し、涙も収まってきた。

「あの人に、何か言われたのか？」

「　　そんなん、　　違うんです」

「じゃあ、何だったん？」

「いいんです」

「あの人、君の親戚か何かかい？」

「違います」

彼女が連れ戻されるような場面を想像したのだ。

そこに、店のマネージャーも来た。

彼は無言で、煙草を吸うばかり。

彼女に聞いた。

「戻れるかい？」

「ええ、ありがとう。わたし、負けません」

ケイコは、美人でも、特に僕のタイプというわけでもなかったが、無理に言えば、僕の好きな女優さんの系列の容貌だった。

翌週、店を訪れたがケイコの姿はなく、その翌週も同様であった。

ケイコの友達とおぼしき麗奈に聞いてみた。

麗奈は茶髪で、美術専門学校に通ってる。あの事件の夜にもいた。

ケイコはあれから、ここを辞めて他所の店でバイトとのこと。

麗奈と、いろいろ話した。

麗奈の好きなタイプは、決して僕のような《情熱家》ではないそう  
だ。

そうか、そんな印象だったのか

翌週、ケイコの勤めてる居酒屋に僕は顔を出した。

いらっしやい、とともにケイコは僕ということが判ったのであろう、  
笑顔になり、「そうか、麗奈に聞いたのね？」

そして、その居酒屋に何回か通ううち、やがて、港の見下ろせるラ  
ブホに泊まることになった。

「なんで、僕とこうなったん」

「サイコロに『五』あるでしょ？あの時のあの客が左下。あなたが  
右の上に、いたの」



(後書き)

『ノラ猫』の逆バージョンですかねえ。女の方は、どこまでも謎です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2994z/>

---

サイコロの『五』

2011年12月10日16時45分発行